

結成
50
周年

超一流の妙技と極上のアンサンブル！

デュオ ハヤシ リサイタル

DUO HAYASHI
RECITAL



PROGRAM

- シューマン：幻想小曲集 作品 73
R.Schumann : Fantasiestücke op.73
- ショパン：チェロとピアノのためのソナタ ト短調 作品 65
F.Chopin : Sonate pour violoncelle et piano sol-mineur op.65
- シューマン：5つの民謡風の小品 作品 102
R.Schumann : 5 Stücke im Volkston op.102
- ブラームス：チェロとピアノのためのソナタ 第2番 へ長調 作品 99
J.Brahms : Sonate für Violoncello und Klavier Nr.2 F-dur op.99

2023年 **11月17日(金)** 18:45 開演 18:15 開場

電気文化会館 ザ・コンサートホール

全席自由 **¥4,000** (税込)

■後援 桐朋学園音楽部門同窓会

■お申込み・お問合せ
.....Tel&Fax 0568-23-1209 (河合)
.....Tel&Fax 079-428-1699 (中村)
.....e-mail : duhays.ts@gmail.com

結 成
50
周年

DUO HAYASHI

林俊昭：チェロ　　林由香子：ピアノ

林俊昭は、青木十良氏に師事し、1970年桐朋学園高校音楽科を卒業後、渡米。ボストン大学でナイクラッグ氏に学ぶ。

林由香子は、桐朋学園高校、同大学で井口基成、高柳朗子、岡林千枝子の各氏に師事する。2人は'73年からデュオとしての活動を始め、'77年に渡欧。プリース、ナヴァラ、フルニエ、ヤニグロ等、世界的巨匠である各氏に師事。'80年、ローマのサンタ・チェチリア音楽院室内楽科を満点で卒業後、イタリアを中心に60回余のコンサートなど活躍。2枚のCDがイタリア一流音楽誌より最高評としての5つ星を得る。その間、ミュンヘン国際、マリア・カナルス、トラツパニ国際、ヴィットリオ・グイ国際室内楽など、数多くの国際コンクールで優勝、入賞する。

'87年、林俊昭が大阪フィルハーモニー交響楽団首席チェリストとして就任のために帰国。その後は室内楽の普及を目指し、メインの活動である「デュオハヤシリサイタル」の他に、イ・ムジチやベニス合奏団のコンサート・マスターらを招いた室内楽シリーズ「デュオハヤシとイタリアの仲間たち」の全国公演を10回開催。大阪では室内楽「隠れた名曲シリーズ」も第10回、東京での「デュオハヤシのとおっておき室内楽」は第23回を迎えた。

帰国後これまでに6枚のCDをリリース、'22年発売の「アルペッジョーネ・ソナタ」は「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。

ヨーロッパ、アメリカへの演奏旅行も、15回以上行い、'11年にはイタリア・フェルモ市で、デュオハヤシのイタリアでの長年の活動を賞して「ジョルダニエロ賞」を授与される。

'03年からはイタリア・クーブラ国際夏期音楽祭で、チェロと室内楽のマスタークラスのレギュラー講師として招かれるなど、若い音楽家の育成にも力を注ぎ、日本では鳥取、出石、和歌山で「室内楽講習会」を20年にわたり主宰。現在も関西で、「室内楽セミナー」を毎年続けている。

林由香子は名古屋芸術大学講師を、林俊昭は東京藝術大学チェロ科と室内楽科講師、徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、大阪フィルハーモニー交響楽団及び日本センチュリーオーケストラで特別契約首席チェロ奏者を務め、豊田ジュニアオーケストラを創設時より20年間指導する。現在は紀尾井ホール室内管弦楽団団友、サワカルテットのメンバー。'01年、'05年、'10年の「1000人のチェロコンサート」では、コンサート・マスターを務めた。（'05年の指揮者は、ロストロポーヴィチ氏）'13年にチェロとピアノ、ヴァイオリンとピアノの二重奏のための「デュオハヤシ国際コンクール」をイタリアのサンタ・ヴィットリア・イン・マテナーノ市で創設し、'19年に第3回を開催。

デュオハヤシは'23年に結成50周年を迎えた。



■ 東山線・鶴舞線「伏見」駅4番出口より東へ徒歩2分